

SIX TOURS

— シストゥール —

Alternative One-room Housing

— オルタナティブ・ワンルーム・ハウジング —

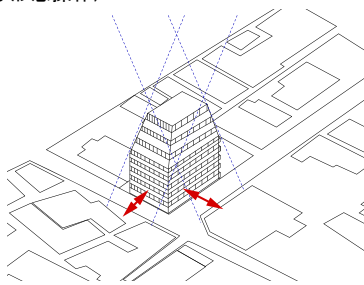
～ワンルーム型集合住宅における別解答～

所在地	福岡県福岡市中央区警固	延床面積	1096.24㎡
構造・規模	SRC造10階建一部RC造一部鉄骨造	主要仕上材	外壁：打ち放しコンクリート仕上げ
建築用途	ワンルーム型賃貸集合住宅（2～8F）+		一部ボーダータイル貼り
	オーナー住宅（9・10F）	竣工	2005年 6月
建築面積	140.60㎡	施工	株式会社善工務店

日本建築家協会優秀建築選2007選定作品

2. Present Condition of One-room Housing (現状のワンルーム)

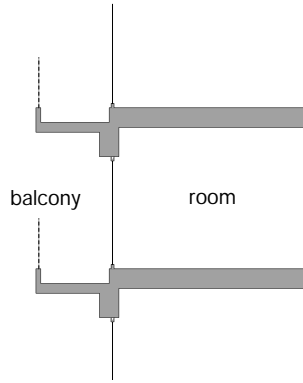
Present form
(一般的な形態操作)



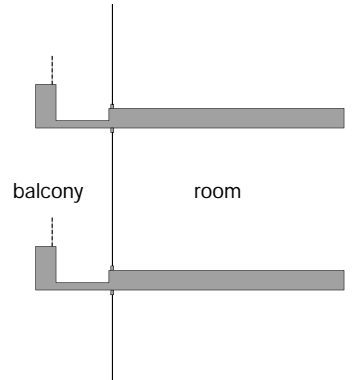
- 道路斜線制限により上部が切り取られた形態。
- 商業地域の容積率が道路斜線制限により使い切れない。
- 敷地境界線まで迫った壁面。



この形態の集積が現状の都市のフォルムを形成している。



一般的な住戸



逆梁工法の場合

present section 1/100

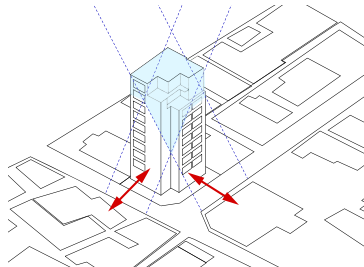
(一般的な断面図)



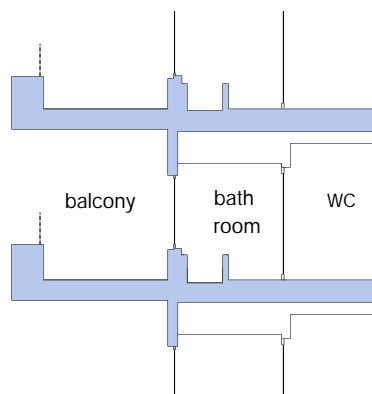
この構成（外壁と手すりが混在する垂直面+バルコニー+開口部）の集積が現状の都市の表層を形成している。

3. Improvement of One-room Housing (シストゥールでのワンルーム)

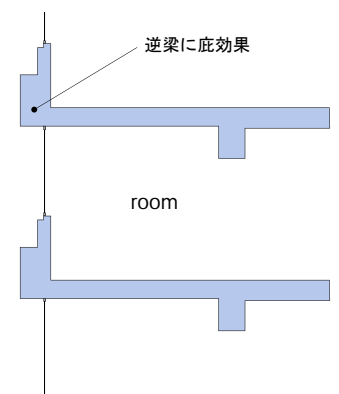
Improvement form
(本計画の形態操作)



- 天空率の採用により斜線制限を受けない形態操作。
- 容積をすべて使用することが可能に。
- セットバックすることで都市との距離を確保。



バルコニーと繋がったバスルーム



開口部が都市の眺望のフレームとなる

improvement section 1/100

(本計画の断面図)



この工法により階高2900で、フラットな天井高2585を確保。

1. Concept

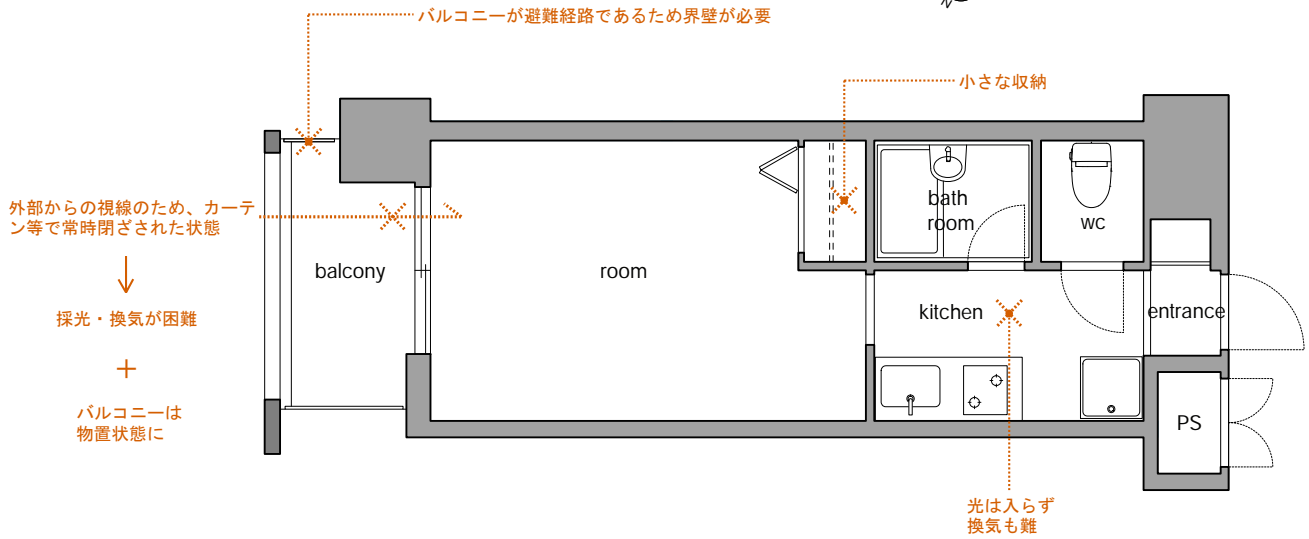
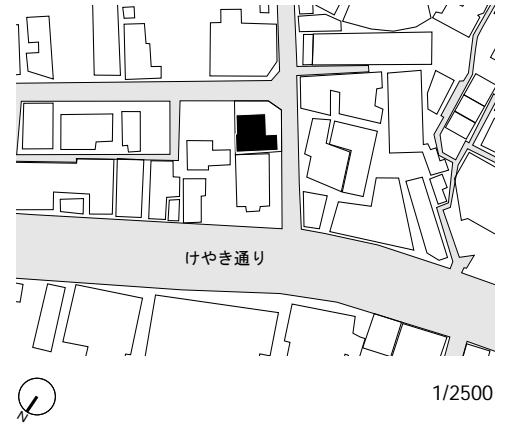
計画地は福岡市の中心地を横断する「けやき通り」からすぐの場所に位置する。

その名の通り美しいけやき並木の続く通り沿いに、少し落ち着いた感じのする物販店や飲食店が並んでおり、その裏から閑静な住宅街が広がっている。

この「けやき通り」から一つ道を入ってすぐのところに、二方向が道路に接する角地の敷地があり、そこにクライアントから「オーナー住居+ワンルーム型集合住宅」の設計依頼を受けた。

設計にあたっては、

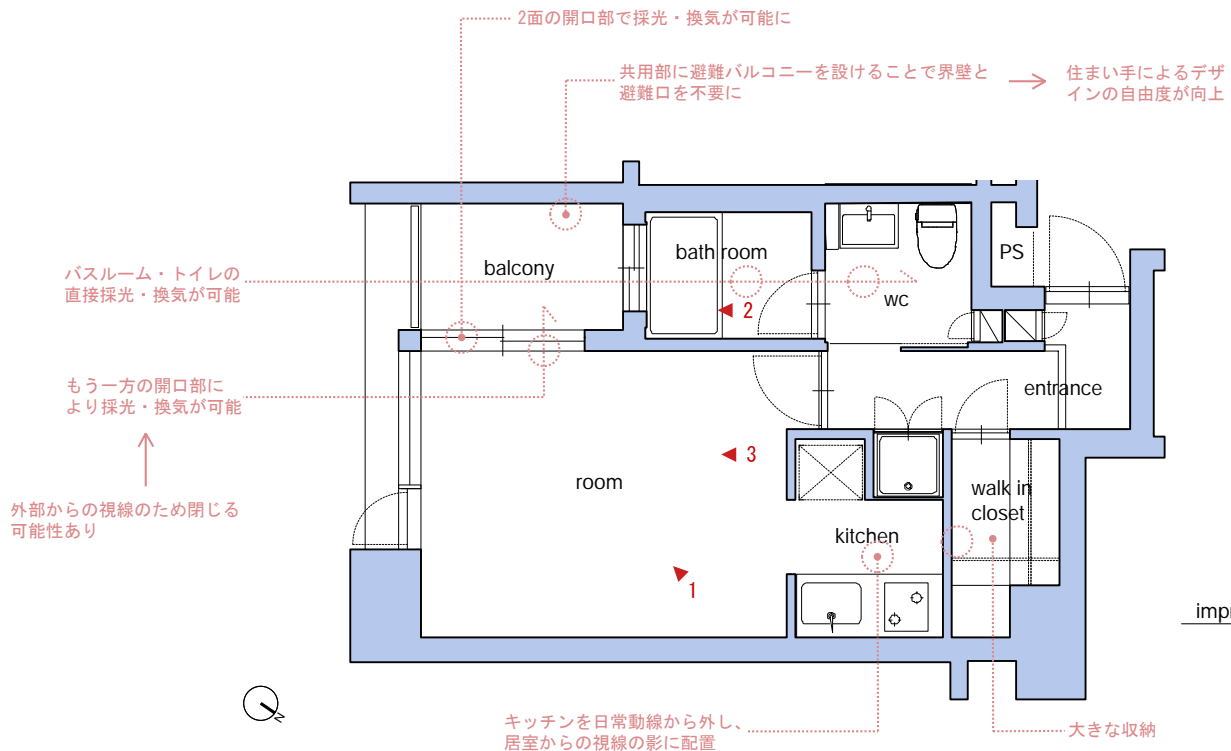
- ・日本の都市風景を形成している主要素の一つである「集合住宅」の現状を形態レベルでよく見つけ直した上で、新たなる形態操作の手法を確立すること
 - ・「ワンルーム型集合住宅」の計画の現状についても見つけ直し、計画手法を再構築すること
- を主眼とし、設計を行った。



present plan 1/60
(一般的な平面図)

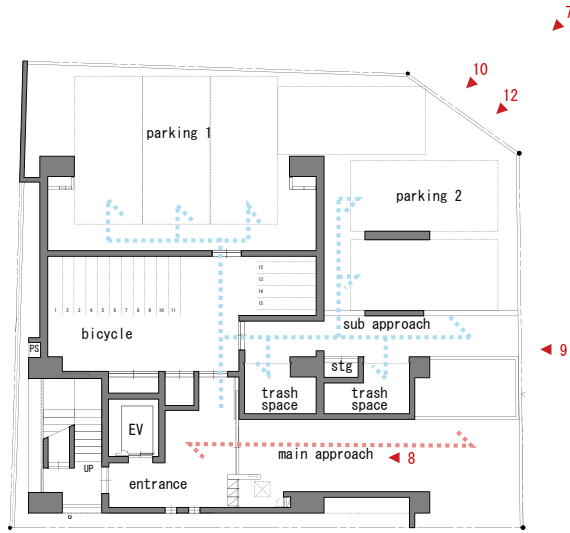


硬直したワンルーム型集合住宅の現状を転換させ、新たなる形式性と形態操作の手法を確立する。

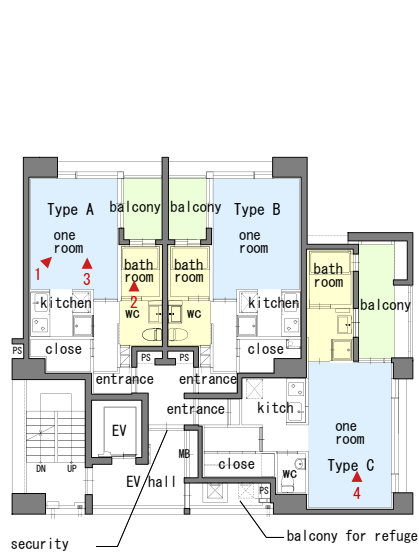


improvement plan 1/60
(本計画の平面図)

4. Planning



■ 日常動線と、ゴミ搬出・自転車動線を分離



■ 集中型避難バルコニー (balcony for refuge)

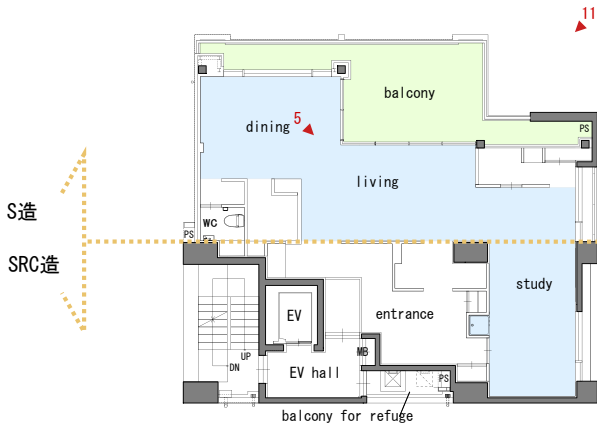
↓
各住戸のバルコニーでの界壁、避難口を不要に

■ 戸境壁RC造+水廻りのゾーニング

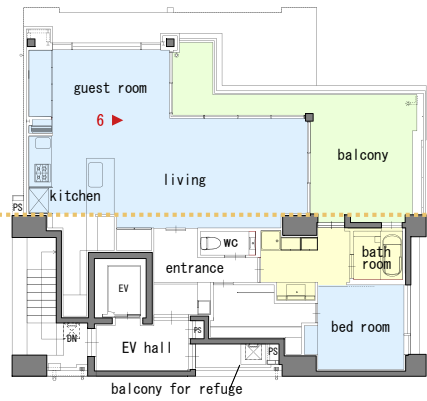
↓
ワンルームの遮音性能を向上

■ 集中型MB

↓
Security doorの前での検針が可能に



S造
SRC造



S造
SRC造

9F plan 1/200

10F plan 1/200

■ すべてSRC造の場合、バルコニー廻りはラーメンフレームが必要

※ ▲ は撮影位置

↓
部分的にS造とし、構造部材を軽量化することでラーメンフレームを除去し、耐震性能を確保



▲1 ワンルームTypeA 室内よりバルコニーを見る



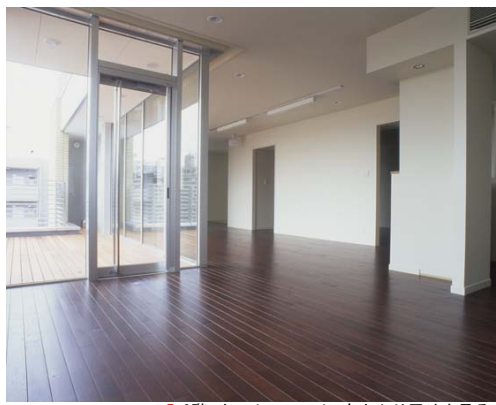
▲2 ワンルームTypeA バスルームより屋外を見る



▲3 ワンルームTypeA 室内より屋外を見る



▲4 ワンルームTypeC 室内よりバルコニーを見る



▲5 9階 オーナールーム 室内より屋外を見る



▲6 10階 オーナールーム 室内より屋外を見る

バルコニーが、ワンルームとバスルームに空間の広がりや自然の潤いを与え、なおかつ住まい手が自由に彩り、眺めることのできる「余白」となる。

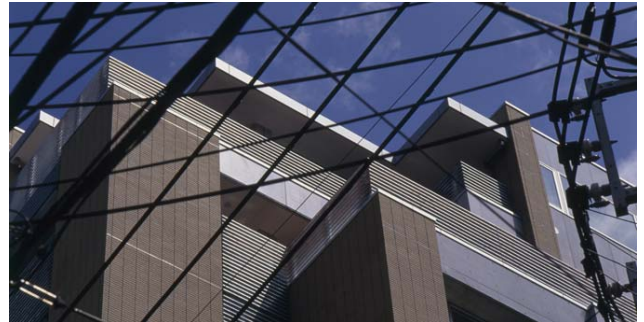


▲7 建物全景を見る

建築の持つ「ライン」の関係性を、機能と面構成を考慮しつつ再構築する。そして建築は、住まい手による彩りをも取り込んで、一風景としてまとめあげていく「フレーム」となる。



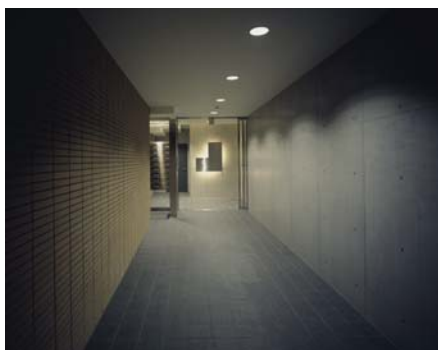
▲10 外観ファサード見上げ



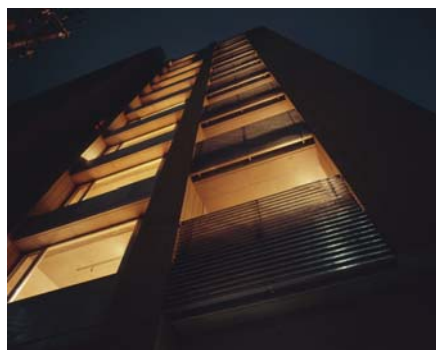
▲11 オーナールーム バルコニー見上げ



▲12 建物夜景を見る



▲8 メインアプローチを見る



▲9 住戸開口部夜景見上げ